



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2016.4月号

好評開催中!!

写真は春期特別展『ひらつかの家康伝説 由緒と地域』で展示中の中原酢の酢甕です。中原酢は中原御殿に逗留中の徳川家康に献上され、以後、将軍家御膳御酢として江戸城へ献上されました。元禄期には第一等の酢として知られていました。この酢甕はその中原酢の醸造に使用されていたものです。

本特別展では徳川家康と平塚地域は関わるゆかりの品や古文書・伝説などを紹介しています。

ひらつかの家康伝説

春期特別展

由緒と地域

2016年5月8日(日)まで

- 会場：平塚市博物館特別展示室
- 開館時間：9時～17時
- 入館無料
- 休館日：月曜日

4月以降の関連イベント

記念講演会

「中原御殿に家康の戦略を読む」

講師：栗山雄揮（平塚市博物館学芸担当長）

日時：4月9日（土）13時30分～15時

「家康由緒と平塚の地域形成」

講師：早田旅人（平塚市博物館学芸員）

日時：4月16日（土）13時30分～15時

（開場は15分前）

※各回とも会場は博物館講堂、参加自由（先着70名）

特別展展示解説

①4月23日（土）②5月7日（土）

※各回とも会場は特別展示室

13時～13時55分 参加自由



新着資料展—民俗—

4月2日(土)～5月8日(日)



民俗部門では、平成27年度の一年間も、たくさんの資料を受け入れました。写真の長持の他、岡崎別北の関谷茂夫家からは、掘り抜き井戸の掃除に用いた、長さ40mもの割竹の先端に鉄板を付けた道具や、葬式の祭壇へ飾る果物を盛るモリカゴなど、往事の生活を物語る民具が多数寄贈されました。これら主な新着資料を寄贈品コーナーで披露します。

◀天和3年(1683) 銘の長持

徳延の旧家から寄贈された長持です。ふたの裏に「天和三癸亥卯月日 山本次兵衛書之 名ばかりはいつの世まで残らん 筐に見よや末の山もと」と墨書されています。何代も前の嫁入り道具と伝えられており、墨書により天和3年に山本家から嫁いだ人の物と推定されます。山本家の名が後世までも残るように箱に記したという主旨の短歌が詠まれています。江戸時代前期にあたる17世紀の年銘が墨書された民具は極めて稀です。

平塚周辺で撮影された昔の写真を公募しています

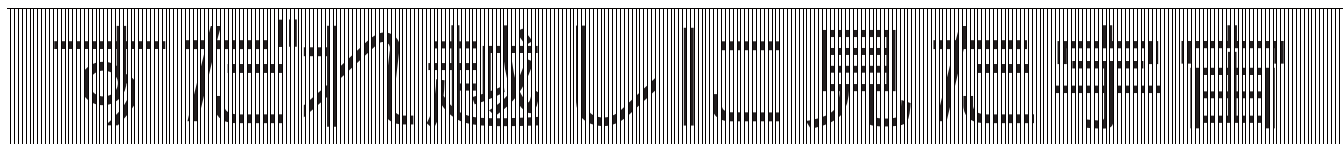
今月まで!

変わりゆく地域の自然と文化を未来に伝えていくため、博物館が開館した1976年(昭和51)から現在までに平塚市とその周辺(相模川・金目川流域)で撮影された風景、地域や家庭のくらしぶり、地域の歴史的出来事などについての写真を募集しています。ご応募頂いた写真は平成28年度夏期特別展において展示などに利用させていただきます。詳しくは博物館までお問い合わせください。募集期間は**4月末日**までとなります。たくさんのご応募お待ちしております。(※ご提供いただく写真は、提供者本人が撮影したもの、または使用权をもつものとします。)

<写真の提供方法>写真またはアルバム、デジタルデータを博物館へ直接お持ちください。デジタルデータの場合は、下記メールアドレスまで、メール本文に必要事項を記入のうえ、添付ファイルでお送り頂いても構いません

○送付先アドレス: image1976@city.hiratsuka.kanagawa.jp

○必要事項: 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、画像が撮影された年月日・場所(可能な限り詳しく)



レントゲンでおなじみのX線は、ブラックホールや中性子星、超新星、太陽など、爆発的に変動する天体から放出される光の一つです。宇宙から届くX線源の位置を特定したのが、日本のX線天文学の父、小田稔です。小田は「すだれ」を使って入射方向を探る、「すだれコリメーター」を発案し、さそり座にあるX線星 Sco X-1 の位置を精密に測りました。X線天文学の誕生と発展についてお伝えします。

投影日: 4月9日(土)～6月5日(日)までの土・日曜日

時間: 午前11時、午後2時 ※5月14日以降の土曜日午前11時の回を除く

観覧料: 200円(18歳未満・65歳以上無料) 定員: 70人



国際博物館の日・地質の日記念

博物館こどもフェスタ2016

毎年恒例の博物館こどもフェスタ。今年は5月7日(土)に開催です。親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意して、皆さまのご来館をお待ちしています。

<開催予定イベント>

古代生活体験「火起こし」
むかしのこども遊び
民家で紙芝居
プラネタリウムこどもフェスタスペシャル
おいしく学ぶキッチン火山実験 など



春からはじまる天文講座案内

この春からスタートする天文講座をいっぺんにご紹介します。多くのバリエーションをご用意しましたので、お気に入りの講座を見つけてぜひご参加ください。もちろん、ぜんぶ参加するのも大歓迎！

さあ、星を見に行こう！

★スターウォッチング入門講座★

星を見に行きたいけどどこにいつ見に行けばいいんだろう？天体観察を始めてみたいけどどうすればいいんだろう？という方向けの講座です。星を見に行くときに役立つ情報、必要な準備など、星見のキホンのキについてわかりやすくお話しします。季節毎・全4回の講座ですが、気になる回だけのご参加もOKです☆

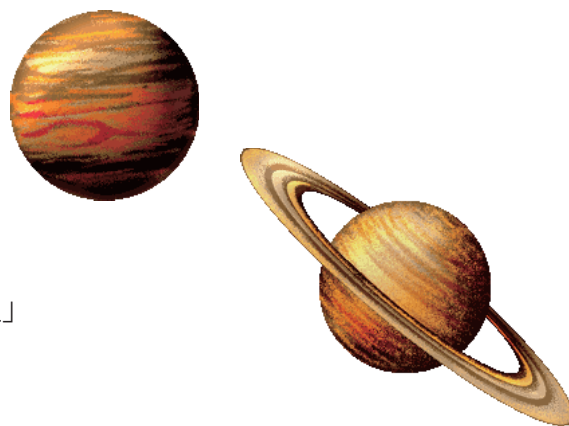
日程 春：2016年4月9日（土）【内容】星見のキホン、星見にあると便利な道具たち など
夏：2016年7月2日（土）【内容】天の川の見える場所、流れ星の観察方法 など
秋：2016年9月10日（土）【内容】月の楽しみ方、双眼鏡のしくみ・選び方・使い方など
冬：2016年12月3日（土）【内容】天体写真の気軽な撮り方、望遠鏡のしくみ・選び方など
時間：15:30～17:00（開場は15分前） / 会場：講堂 / 定員：各回50名（当日受付・先着順）

天文学の基礎を学ぶ

天文学入門講座「太陽系と惑星」

昨年度まで開催していた「天文連続講座」を「天文学入門講座」と「最新天文学講座」に分けました。前者が天文学の基礎を、後者が最新の天文学の話題を、それぞれ解説する講座です。そして「天文学入門講座」は毎月1回（7・8月を除く）全10回の講座として、今年度は太陽系をテーマに4月から始まります。各回完結なので興味のある回のみでの参加でも大丈夫です。

日程：2016年4月23日（土）「太陽系には何がある？」
2016年5月21日（土）「水星・金星と惑星の運行」
2016年6月25日（土）「地球と惑星内部の探り方」
2016年9月24日（土）「火星とケプラーの法則」
2016年10月22日（土）「木星と惑星の大気」
2016年11月19日（土）「土星と惑星のリング」
2016年12月17日（土）「天王星・海王星と惑星の衛星」
2017年1月21日（土）「小天体と太陽系の誕生」
2017年2月18日（土）「太陽とその活動」
2017年3月18日（土）「惑星たちの身体測定」



時間：15:30～17:00（開場は15分前） / 会場：講堂 / 定員：各回50名（当日受付・先着順）

※天文学入門講座・番外編「変光星の世界」「変光星を観測しよう」

当館天体観察会会員で2015年度日本天文学会天文功労賞受賞者の永井和男さんを講師にお迎えし、変光星観測の魅力について語ってまいります。当館学芸員による変光星に関する基本講座もあります。

日時：2016年4月24日（日）15:00～17:00 / 会場：講堂 / 定員：50名（当日受付・先着順）

体験学習

「ヤコブの杖」を作って火星の動きを測ろう

古代の天文学者が星の動きを測るときに使っていた道具“ヤコブの杖”を工作して、これから地球に近づいてくる火星の動きを測る方法を学習します。

日時：2016年5月1日（日）15:30～17:00 / 会場：科学教室 / 材料費：100円

対象：小学校3年生以上 / 定員：15名（応募多数時抽選）

申込：往復はがきに行事名、氏名、学年、住所、電話番号を記入の上、博物館まで申込。

4月17日当日消印有効



1	金	古文書講読会	講堂	
		聞き書きの会	特別研究室	
2	土			☆
3	日	◎ひらつか星空調査隊 活動報告会	講堂	
		○野外見学会「中原御殿を歩く」	野外：御殿周辺 雨天時：講堂	☆
4	月	休館日		
5	火			
6	水			
7	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
8	金	古文書講読会	講堂	
		お囃子研究会	講堂	
9	土	◎春期特別展記念講演会 「中原御殿に家康の戦略を読む」	講堂	☆
		◎スターウォッチ入門講座・春	講堂	
10	日			☆
11	月	休館日		
12	火			
13	水			
14	木	平塚石仏の会	講堂	
		古代生活実験室	科学教室	
15	金	◎星を見る会	科学教室・屋上	
		古文書講読会	講堂	
16	土	◎春期特別展記念講演会 「家康由緒と平塚の地域形成」	講堂	☆
		星まつりを調べる会	特別研究室	
		相模川の生い立ちを探る会	野外：茅ヶ崎/雨天時：科学教室	
		お囃子研究会	講堂	
17	日	◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム	☆
		天体観察会 勉強会	科学教室	
		天体観察会 定例会	講堂	
		平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
		◎ろばたばなし	相模の家	
18	月	休館日		
19	火	天体観察会 太陽勉強会	特別研究室	
20	水	裏打ちの会	科学教室	
21	木	民俗探訪会	野外	
		展示解説ボランティアの会	講堂	
22	金	古文書講読会	講堂	
23	土	◎天文学入門講座「太陽系と惑星」	講堂	
		東国史跡踏査団	講堂	
		地域史研究ゼミ	特別研究室	☆
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
		◎春期特別展展示解説	特別展示室	
24	日	◎天文学入門講座・番外編	講堂	☆
25	月	休館日		
26	火			
27	水			
28	木	石仏を調べる会	講堂	
29	金			
30	土			
31	日			☆

1	日	○体験学習「ヤコブの杖を作って火星の動きを測ろう」	科学教室	☆
2	月			
3	火			
4	水			
5	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
6	金	古文書講読会	講堂	
		聞き書きの会	特別研究室	
7	土	◎こどもフェスタ	全館	☆
8	日			☆
9	月	休館日		
10	火			
11	水			
12	木	平塚石仏の会	野外 / 雨天時：講堂	
		古代生活実験室	科学教室	
13	金	古文書講読会	講堂	
		お囃子研究会	講堂	
14	土	星まつりを調べる会	特別研究室	☆
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	
15	日	◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム	☆
		天体観察会 天文学勉強会	講堂	
		天体観察会 定例会	講堂	
		平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
		◎ろばたばなし	相模の家・特別研究室	
16	月	休館日		
17	火	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
18	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	野外 / 雨天時：講堂	
19	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
20	金	古文書講読会	講堂	
21	土	◎天文学入門講座「太陽系と惑星」	講堂	☆
		東国史跡踏査団	講堂・野外	
		地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
22	日	天体観察会 流星文科会	科学教室	☆
23	月	休館日		
24	火			
25	水			
26	木	石仏を調べる会	野外：中原・南原/雨天時：講堂	
27	金	◎星を見る会	科学教室・屋上	
		古文書講読会	講堂	
28	土	◎相模川流域ジオツアー入門 第1回	野外：田村	☆
		お囃子研究会	講堂	
29	日	神奈川キノコの会	講堂	☆
30	月	休館日		
31	火	月末休館日		

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制

【自由参加の行事】

◎ひらつか星空調査隊 活動報告会

内容：平成27年度の夜空の明るさ調査「ひらつか星空調査隊」の成果を報告します。調査隊に参加していない方でも、興味がある方はどなたでも参加できます。

場所：博物館1階 講堂 / 定員：50人（先着順）

日時：4月3日（日）午後3時30分～午後4時30分

開場は午後3時15分

◎星を見る会「月・木星を見よう & 水星観察にチャレンジ！」

内容：半月過ぎの月や見ごろを迎えた木星を観望します。肉眼で水星の観察にもチャレンジ！

場所：博物館1階 科学教室 及び屋上

日時：4月15日（金）午後7時～午後8時30分

◎ろばたばなし

内容：民家のいろいろばたで昔話を語ります。 / 場所：相模の家

日時：4月17日（日）(1)午後1時20分 (2)午後3時

【プラネタリウム】定員：70人 観覧料：200円（18歳未満・65歳以上無料）

○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。

○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退席はできません。

☆プラネタリウム一般向け番組「すだれ越しに見た宇宙」

詳細は2ページ参照。

☆星空と音楽の夕べ 投影日時：4月17日（日）午後4時

内容：モーツァルトやシューベルト、滝廉太郎の楽曲など、クラシック

音楽を聞きながら美しい星空を鑑賞します。

4月の休館日：4日、11日、18日、25日

※博物館からのお願い

駐車場が大変混雑しています。極力、公共交通機関でご来館ください。

あなたと博物館 44巻1号 通算472号 発行 平塚市博物館 2200
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
ホームページ <http://www.hirahaku.jp/>